



学校法人 日本聾話学校

きこえの学校 ライシャワー学園

# 聴覚障がい児のためのチャリティー映画会

ぼくがどうやって  
風力発電で  
未来を  
手に入れたのか。



THE BOY WHO HARNESSSED THE WIND

# 風をつかまえた少年

監督・脚本・出演:キウテル・イジョフォー(『それでも夜は明ける』ほか) / 出演:マックスウェル・シンバ、アイサ・マイガ ほか  
原作:『風をつかまえた少年』ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミラー著(文藝春秋刊)  
2018年/イギリス、マラウイ/英語、チェワ語/113分/シネマスコープ/カラー/  
原題:The Boy Who Harnessed the Wind/日本語字幕:松崎広幸/配給:ロングライド

2026年

6月6日(土)

14:00開演(開場13:10)

(本校児童、生徒による歌とハンドベル演奏にひきつづき本編上映1時間53分)

青山学院講堂<青山キャンパス内>

会員券:指定席2,000円/自由席1,600円 ※当日券あり

郵便振替およびお電話・ファックス・右記QRコードにてお申し込みください。

TEL.042-735-2361 FAX.042-734-8292(きこえの学校 ライシャワー学園) 郵便振替 00130-7-52121

©主催/きこえの学校 ライシャワー学園チャリティー映画会実行委員会 ©後援/朝日新聞厚生文化事業団 ©協力/アダージェット



本校児童、生徒による歌と  
ハンドベル演奏の発表があります。

▼お申し込みQRコード



補聴器着用聴覚障がい者の  
方々のために磁気ループ席  
を用意しております。

# 図書館で見つけた一冊の本を元に電気を起こす風車で 村を救った少年の奇跡の実話。

## STORY .....

2001年、アフリカの最貧国のひとつマラウイを大干ばつが襲う。14歳のウィリアムは飢饉による貧困で学費を払えず通学を断念するが、図書館で一冊の本と出会い、独学で風力発電のできる風車を作り、乾いた畑に水を引くことを思いつく。いまだに祈りで雨を降らせようとする村で、最愛の父でさえウィリアムの言葉に耳を貸さない。それでも家族を助けたいという彼のまっすぐな想いが、徐々に周りを動かし始める。

国中を襲った大干ばつにより、14歳の時、学費を払えず中学校を退学したウィリアム・カムクワンバ少年。以来、NPOの寄贈図書室で物理や化学を独学で学び、廃品を利用して“風力発電のできる風車”を自宅の裏庭に製作。当時人口2%しか電気を使うことができないマラウイで、家に明かりを灯すことに成功する。この出来事が国内外の記事で取り上げられ、国際会議「TEDグローバル」へ招待されるなど、一躍、世界的な名声を獲得。



2025年4月に日本聾話学校からきこえの学校 **ライシャワー学園** と校名を変更して新たなスタートを切りました。本校は日本で唯一のキリスト教精神による手話を使わない私立の特別支援学校(聴覚障害)です。デジタル補聴器や人工内耳によって、子どもたちに残された聴力を最大限に活用し、心からの対話を重視した『聴覚主導の人間教育』を行っています。これにより子どもたちはそれぞれ、明るく・やさしく・たくましく・そして本当に賢くしっかりした人間に育っています。

### ●お問い合わせ



学校法人 日本聾話学校

きこえの学校 **ライシャワー学園**

〒195-0063 東京都町田市野津田町1942

TEL.042-735-2361(代) FAX.042-734-8292

<https://nrg.ac.jp/>



## 《会場案内》

### 青山学院講堂へのアクセス方法 (青山キャンパス内)

- JR山手線、東急線、京王井の頭線「渋谷駅」宮益坂方面の出口より徒歩約10分
- 東京メトロ「表参道駅」B1出口より徒歩約5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。